

SAPIENTIA

vol.96

秋 六甲の山並みに夕映え遠く仰ぐまで
知恵と力を鍛えんと若き命も火と燃えて
同じ意志の兄弟は 英知の庭に競いたり

1. 学位授与式に思う
2. オープンキャンパス2006
3. アイヌ文化展
4. ニュース アンソンド メッセージ
5. スペイン語フランス語暗誦大会
6. ありがとう
エミリー先生、ダニエル先生
7. 新任アシスタント教員の紹介
8. 就職課 / 進路説明会
9. 学生支援室
10. 留学生交流会
11. 後援会から
12. 後援会 / 決算・予算報告
13. 法人会計決算の概要
14. 法人会計/貸借対照表



英知の学位授与式に思う 高見伊三男

2006年7月6日に英知大学大学院の博士学位授与式に出席できまして、喜びにたえません。愛の僕なる主イエス・キリストの父なる神様をはじめ、英知の先生方、職員の方には、多大なる御指導や御世話を賜りまして、心より感謝を申し上げます。

特に、故岸英司教授と今道友信教授には、私の博士論文「源信『往生要集』における観仏の霊性とパウロ『書簡』における神秘体験についての比較宗教文化思想的研究」の御指導を頂きましたことを、文字どおり有難く思っています。日本における仏教とキリスト教の比較研究の先駆けであられる岸先生の下で、私の念願の両教の比較研究の一つの結果を結ぶことができました。でも去る5月25日に帰天されました先生が授与式に御臨席されていないことは、とても寂しく感じました。また、日本・世界の思想界の代表であられる今道先生からは、時々温かい励ましのお言葉を頂きました。先生は御祝辞で、「博士論文は、英知の宝です」とおっしゃいました。拙論は、少しでもそうであれば、幸いです。さらに、小田学長、大沼大学院研究科長、A. ボナツィ宗教文化専攻主任からは、それぞれの意味深い御祝辞を頂きました。どうも有難うございました。

これをスプリングボードとして、英知大学・大学院、また学問の真理の探究、そして自らの使命のために、日々少しでも前進できますことを祈願しております。



OPEN CAMPUS 2006

02

OPEN CAMPUS 2006



Martin Weatherby 先生のミニ授業



今年も英知大学オープンキャンパスがスタートしました。降りしきる雨の中迎えた初日でしたが多くの方々にお運び頂けたことを大変有り難く感謝しております。

学科相談コーナーでは、英語英文学科、人間学科(キリスト教学、総合人間学)、国際文化・言語学科(アジア研究、日本研究、スペイン語圏、フランス語圏)と各コースごとにブースが設置され担当の教員がやさしく高校生の質問にお答えしました。なごやかな雰囲気にご来場の高校生も保護者の方々もリラックスされている様子でした。

ウェザビ先生担当のミニ授業はパソコンを有効に利用した模擬クラスで大変人気があり、熱心な保護者の姿をうけ、先生の身振り手振りはいつもとよりさらに活気あるものでした。

アンドレス先生、エミリー先生、ダニエル先生合同での会話教室は参加者参画型のとても楽しい時間でした。下の写真は、おそろおそろ手をあげた高校生にやさしく教えているエミリー先生です。



学科相談コーナー

9月18日(月・祝)がオープンキャンパス最終日です。スタッフ一同お待ちしておりますので、お気軽にお越し下さい。

9月18日ミニ授業スケジュール

学 科	担当教員	タイトル
人間学科	沼野元義	心理学で解く“頭の体操”
英語英文学科	藤木隆義	インターネットを使った楽しい英語学習
国際文化・言語学科	竹内千代子	日本の紋様文化—縞柄の流行—



アイヌ文化展

知ろう・理解しよう日本国内の異文化



アイヌ楽器ムックリの製作



「多様な言語や異文化、および日本を知ることが国際社会に平和と幸福を創り出す知恵となる」との考え方のもとに、7月15日から17日までの3日間、英知大学タワー8階において「アイヌ文化展」を開催いたしました。開催にあたり、「アイヌ文化振興・研究推進機構」、「尼崎市」、「尼崎市教育委員会」からのご後援をいただいております。

「アイヌ文化振興・研究推進機構」には、アイヌ工芸品の貸出、アドバイザーの方々の派遣、展示指導等、多大なご支援・ご協力を賜りました。

アイヌ文化展会場では、展示コーナーとして、アイヌ民族の歴史・衣食住の写真パネルの展示、アットウシ(樹皮衣)・チカラカラベ(木綿衣)・マキリ(小刀)・タシロ(山刀)・イタ(盆)・ニンカリ(耳飾り)・トンコリ(琴状の楽器)・シクントラ(クマおおい紐)等の生活日用品の実物の展示、アイヌ生活文化ビデオの上映を行いました。

実演コーナーとして、アイヌの代表的な楽器の「ムックリ」の製作を来場者と共に行いました。また、会期中、「アイヌ文化振興・研究推進機構」のアドバイザーである星野工さん、丸子美記子さん両氏の講演会を「アイヌの歴史を中心に差別の実態」、「アイヌ差別の体験談」というテーマで開催し、高校生、高校教諭、地域の方々、近隣の小学校の児童等、3日間で150人を超える方々にご来場いただき、閉会いたしました。

アイヌの歴史

本州が紀元前300年ごろ、弥生時代を迎え、室町時代にいたる間、北海道では、続縄文時代、擦文時代・オホーツク文化と土器文化の時代が続ききました。アイヌ文化といわれる時代は1400年ころから1700年代前半までとされています。擦文文化がオホーツク文化の影響を受けながらアイヌ文化に移行したとする説もありますが、はっきりとはしていません。

1400年代半ごろから北海道において南部の江差、松前を中心として和人勢力が強まり、それはやがてアイヌ民族への抑圧へと変わります。その抑圧に対してアイヌ民族は、1457年のコシャマインの戦い、1669年のシャクシャインの戦い、1789年のクナシリ・メナシの戦いをもって抵抗しますが、いずれも敗退し、特にクナシリ・メナシの戦いで敗れた後は完全に和人の支配下に入り、抑圧・搾取されるままに明治を迎えます。

明治時代には、同化政策によりアイヌ民族としてのこれまでの生活習慣はすべて禁止され、「旧土人」として「日本人」の生活習慣を強制されるようになります。1899年に制定された「北海道旧土人保護法」はアイヌ民族の救済と農業授産を主目的とした法ではありますが、アイヌ民族を「旧土人」として位置づけ、いわゆる和人との「区別」を明確化しています。

明治後半になると、本州からの移住が増え、それにともなって、これまでのアイヌ民族に対する抑圧・搾取に代わって「差別」が生じ、それは現在でもなお続いており、大きな社会問題となっています。

1997年に「アイヌ新法」が制定されましたが、いまだアイヌに関する差別は続いており、このようなさまざまな差別問題が日本国内でもたくさん起こっています。また、世界各国でも人種による差別等の問題が起こっています。

今後、全世界の差別社会を無くし、人類が平和で共に協調していけることを切望しております。

入試広報課長 中山 猛

NEW ERA BOWL 2006

7月8日(土)、関西学生アメリカンフットボール連盟の総結集ともいえる大会が今年も大阪長居球技場で繰りひろげられました。アメリカから招待した選手とコーチを組み合わせた日米混成チームがぶつかりあい、高度な技術と知識を高めあう大会です。ここに英知大学ブルドッグスの山本宏貴さん、マネージャーの白澤綾さん、平石緑さんが出場しました。また主将の松本聡さんも8千人の観客の前で旗手として英知大学大学旗を掲げました。



To play with honor and be bold, that is our goal.

アメリカ、スペインで滞在中の留学生からの手紙

アメリカ ワシントン州立大学 (IALC)
英語英文学科 4年生
坂本 隆弘



私が留学を決意したのは、単純にアメリカという地に憧れていたのと英語を勉強したかったからです。しかし着いてみると、たやすいものではなく人と人のコミュニケーションの難しさ、文化の違い、さまざまなことでショックを受けました。ですが逆に自分の考えなどを見直すいい機会でもあり、日本だけでなく世界のことにも興味をもてるようになりました。アメリカにきてまだ3ヶ月ですが日本ではできない経験を通して学び、将来につながる、自分にとってプラスになるようがんばりたいと思います。

スペイン 国立サラマンカ大学
国際文化・言語学科 3年生
佐柄 亮太



4月から始まったスペイン生活、「スペイン語上達」を目標に日本を発ってから、早くも3ヶ月が過ぎようとしている。スペインに着いてからすぐに体調を崩したり、ホームステイ先を変更したりとトラブルがあり、不安になることもあったが、今ではスペイン生活を楽しんでいる。

スペインにきた当初は、ほとんど自分から話そうとしなかった。しかし、「黙っているだけでは、何も始まらない。間違っていないから話そう！」と思い、クラスメート、先生、ホストファミリーと少しずつ話し始めた。すると少しずつスペイン語が上手くなっているような気がした。

残された時間を有効に使ってスペイン語が上手くなるように頑張りたい。

※上記学生以外に今年は、イギリスのカンタベリー・ク ライストチャーチ大学に3月から2名が留学しています。また、後期からはスペインでの半年留学に向けて1名が準備中です。



第7回 英知大学 スペイン語・フランス語合同暗誦大会



第7回スペイン語・フランス語合同暗誦大会が6月29日(木曜日)14時40分からサビエンチアタワー10階大ホールにおいて行われました。スペイン語9名、フランス語12名がスペイン大使賞、フランス大使館賞の獲得に精一杯努力して競い合いました。スペイン語の部入賞者には、後援のスペイン大使館から賞状、副賞としては、在大阪スペイン国名誉領事館、株式会社志摩スペイン村からバルケエスパニヤのチケット、フランス語の部入賞者には、フランス大使館からの賞状、並びに副賞としての書籍が贈呈され、英知大学からは、参加者も含めそれぞれに図書カードを贈りました。

スペイン語の部

フランス語合同暗誦



2位

英語英文学科
4年生 西田 裕亮

3位

国際文化・言語学科
1年生 安井 達也

特別賞

英語英文学科
4年生 林田 卓

優勝：スペイン大使賞

スペイン語スペイン文学科 4年生
諏訪 健太
KENTA SUWA

誰よりも努力し、誰よりも優勝を意識して取り組んだ結果が優勝に繋がったと私なりに自負しております。掴んだものは優勝という名誉だけでなく、目的をもちそれに向かって努力することで得られる自信も掴みました。指導していただいた先生方に感謝申し上げます。

優勝：フランス大使館賞

フランス語フランス文学科 4年生
石川 洋和
HIROKAZU ISHIKAWA

今回、このような賞を頂き素直に感激しました。全てはフランス語を教えてくださいました先生方や友人達のおかげだと私は感じます。ですから、これからは、そういった感謝の念を忘れず、何事にも前向きに、そして真面目に取り組むことによって良い結果が生まれると信じ、そう行動していきたいと思っています。

フランス語の部

フランス語合同暗誦



2位

国際文化・言語学科
3年生 福留 美紀

3位

国際文化・言語学科
1年生 三浦 小夜子



学外主催コンテストへの出場

今年も学外のコンテストへも積極的に出場しています。
 ☆第30回関西外国語大学学長杯争奪スペイン語弁論大会 (2006年6月4日)
 佐々木真琴 (国際文化・言語学科3年生) が今年度初の学外へのチャレンジをしました。
 ☆天理大学主催 第43回イスパニア語弁論大会 (2006年7月2日)
 渡辺伸一郎 (スペイン語・スペイン文学科4年生) 第3位入賞
 諏訪健太 (スペイン語・スペイン文学科4年生) IPS賞
 佐々木真琴 (国際文化・言語学科3年生) ヨーロッパ・アメリカ学科特別賞
 本学からの参加者3人も受賞という素晴らしい結果でした。
 ☆京都外国語大学主催 第11回関西学生フランス語暗誦大会 (2006年7月8日)
 石川洋和 (フランス語・フランス文学科4年生)
 近藤結 (国際文化・言語学科3年生)
 福留美紀 (国際文化・言語学科3年生)
 三浦小夜子 (国際文化・言語学科1年生)
 惜しくも入賞は逃がしましたが、4人も大健闘でした。

今回の司会は、国際文化・言語学科3年生ゴイコチェア・栄子さんとフランス語フランス文学科4年生河野一歩さんによる各言語での進行でした。ありがとうございました。





エミリー先生、ダニエル先生、ありがとう！
この夏、英知大学を去っていかれる2人の先生方からのお別れの言葉です。

DANIEL AXELSON

The humid days, cicadas buzzing, fireworks festivals...this can only mean that summer is in full swing. This is my second summer in Japan, which means that my time here at Eichi has come to an end. Like the beautiful, yet mighty, spring sakura blossom my time here was short and glorious. I enjoyed every moment of it.



This school was my first home in Japan, and although I am moving on, I will always remember where my heart first fell in love with this country.

Thank you all, good luck, and God bless!

Sincerely, Daniel

EMILIE POMMIER



5年前、私は日本に到着したばかりでした。まったく日本語はしゃべれず、それまでヨーロッパを離れたこともありませんでした。今では、言葉に尽くせない、素晴らしい体験をすることができたと実感しています。

とはいえ、もっとも素晴らしい冒険は、もちろん、あなた方と一緒に体験した冒険です。あなた方と知り合いになれたこと、あなた方のフランス語が上達していくのを見ていくことは、本当に楽しかった。みなさんの熱意、好奇心、素晴らしい人柄のおかげで、私の日本滞在は、とても満足に満ちたものとなりました。皆さんとお会いできてうれしかったし、そしてこれからも、もちろんフランスであなた方をお待ちしています。

楽しみながら、笑顔で勉強を続けるのを忘れないでください。ではまた！

Il y a cinq ans, je venais d' arriver au Japon. Je ne parlais pas du tout japonais et je n' avais jamais quitté l' Europe. Aujourd' hui, j' ai l' impression d' avoir vécu des aventures extraordinaires, difficiles à résumer en quelques lignes.

Mais la plus belle de ces aventures, c' est surement celle que nous avons vécue ensemble. J' ai eu beaucoup de plaisir à faire votre connaissance et à vous voir progresser en français. Votre enthousiasme, votre curiosité et votre bonne humeur m' ont aidé à apprécier mon séjour au Japon. J' étais ravie de vous rencontrer et vous savez que je vous attends en France.

N' oubliez pas de continuer à étudier avec plaisir et avec le sourire
A bientôt !

Emilie



マガリ先生、アリーシャ先生、ようこそ英知大学へ。
10月からフランス語と英語の無料会話クラスを担当される新しい
アシスタント教員のお2人からメッセージが届きました。

Magali Emery

西フランス カトリック大学



こんにちは、英知大学生の皆さん！

皆さんはわたしのことをまだご存じないでしょうが、わたしは皆さんのことをいろいろ伺ってきました。わたしはマガリ・エムリ、10月から皆さんの新しいフランス語教員になります。お初にお目にかかる日を心待ちにしつつ、自己紹介いたします。

現在25歳、ル・マン生まれですが、アンジェの西フランス・カトリック大学で学びました。英語の学士号を取得したのち、母国語であるフランス語を外国人に教えるために、フランス語教授法を学びました。一刻も早く皆さんにお目にかかって、一緒に充実した時間をすごしましょう。では、10月に待ち合わせということで、いいですね？

Bonjour étudiantes et étudiants d' Eichi !

Vous ne me connaissez pas encore, cependant j' ai beaucoup entendu parler de vous. Je m' appelle Magali Emery et je vais être votre nouvelle lectrice à partir d' octobre prochain. En attendant de vous rencontrer pour la première fois, je vais me présenter. J' ai 25 ans. Je suis née au Mans, mais j' ai fait mes études à l' Université Catholique de l' Ouest à Angers. Après une licence d' anglais, j' ai choisi d' étudier le français langue étrangère afin d' enseigner le français, ma langue maternelle, aux étrangers. Je suis impatiente de vous connaître et j' espère que l' on passera de bons moments tous ensemble ! Alors on se donne rendez-vous en octobre ?

Magali Emery

Alicia LeGrand

アメリカ ローラス大学



Hi! My name is Alicia LeGrand. I will be the new Assistant Teacher for English. I am really excited to see what life is like in Japan.

I am the second oldest of four children. I have two brothers and one younger sister. I come from Dubuque, Iowa, which is a city on the Mississippi River. Dubuque is a pretty city, where you can see all the four seasons. The summers are hot, the winters are cold and snowy, the fall has a beautiful display of changing leaves, and the springs are usually rainy. I graduated from Loras College this past May with a degree in Communications and a minor in English. My area of study was focused around Media Studies, so I know a lot about how to make movies, TV shows, and other such things.

This will be my first trip to Japan. I became interested in Japan and Japanese culture in high school, mostly because of *anime* and *manga*. In college I took a course about Japanese History and Culture and decided I really wanted to visit Japan one day. I can't wait to see Eichi and to meet the teachers and students. I also can't wait to explore Amagasaki. I will probably need a tour guide so if any one wants to volunteer let me know. I'm excited to meet you all!

就職課 CAREER SUPPORT CENTER 進路説明会

08

CAREER SUPPORT CENTER



6月17日(土)午後1時より、サピエンチアタワー10階におきまして、21名(17組)の保護者のご参加をいただき下記の通り3年生保護者対象「進路説明会」を開催いたしました。

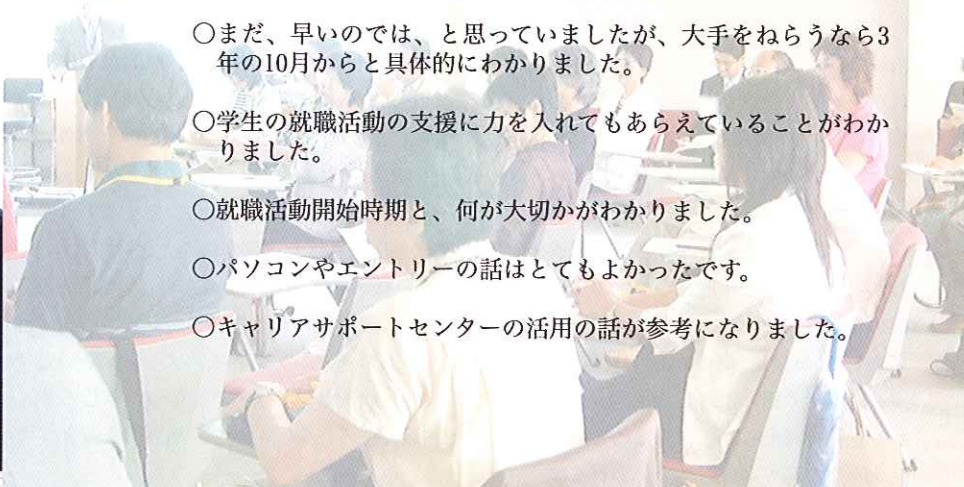
【プログラム】

- 一部「就職環境を取巻く現状と課題について」
- 二部「キャリアサポートセンター(就職課)活用方法」
- 三部 スタッフ(内定獲得者の4年生生)と保護者との座談会

以下は、ご欠席されました保護者の皆様方にもご参考にしていただきたく、ご参加の保護者の皆様方からいただきましたアンケートよりコメントをご紹介します。

【コメント】

- 本人が就職に対する意識を高く持ち、早くから自主的に取り組むことが大切。
- 本人・親・大学が協力して対処する必要があると感じた。
- 内定をもらった4年生の方の話が参考になった。
- 大手企業など、採用スケジュールが参考になった。
- 漠然としていた就職の意識を親も自覚できたので、今後子供と対話したい。
- まだ、早いのでは、と思っていましたが、大手をねらうなら3年の10月からと具体的にわかりました。
- 学生の就職活動の支援に力を入れてもあらえていることがわかりました。
- 就職活動開始時期と、何が大切かがわかりました。
- パソコンやエントリーの話はとてもよかったです。
- キャリアサポートセンターの活用の話が参考になりました。





6月24日(土曜日)
大阪歴史博物館見学
大阪企業家ミュージアム見学
手作り弁当食事会



就職部と教学部留学生室をはじめ、各関係部署のご協力をいただき、留学生支援の一環として企画した本年度第1回の日本事情見学会は無事に開催することができました。

総勢25名の参加者は朝10:30から11:00までの間に続々と阪急梅田駅に着き、JR大阪環状線に乗り換えて、11:30に大阪城公園に到着しました。大阪城公園周辺の景観を眺めながら、学期末試験や就職活動や日常生活について歓談し、前日に用意した手作り弁当を楽しみました。食事後、徒歩で大阪歴史博物館へ移動し、難波宮時代から近代までの大阪の歴史について、展示物や模型や映像などを通して勉強しました。ビデオとカメラを使い、興味津々で各時代の展示を撮り、奈良時代の衣裳着付けコーナーにそれぞれ古代の日本衣裳を体験しました。

大阪企業家ミュージアムへの見学は留学生の就職支援を視野に入れた企画であります。平成13年に設立されたこのミュージアムは企業家精神の高揚と伝承を通じて、次代を担う人材を育成することを目標とし、明治以降の105名の代表的な関西出身企業家を収録しています。同ミュージアムの見学は14:45に開始しました。留学生たちはまず館員による「大阪の企業家精神」をテーマとする約30分の講義を聴き、つぎに約15分のプロローグ映像「大阪の企業家精神のルーツ」を観ました。最後に、館員の案内に従い、主展示「企業家たちのチャレンジとイノベーション」を学習しました。同ミュージアムの展示や紹介に対し、留学生たちは大変興味を示し、質問したりノートを取ったりして、高い志、変化、先見性、チャレンジ精神、創意工夫、自立自助とやり抜く意思を内容とする企業家精神を一層理解するようになり、企業文化や商業文化をより深く認識したと思われます。

留学生交流会

5月18日の午後「留学生交流会」を開催しました。

本学の歴史、国際交流、在留資格、日本語能力試験、奨学金申請について設問し、クイズによる留学生教育を行ないました。その後、懇親会に移り、中国の水餃子や日本のお菓子を味わいながら、留学生に日本人学生、教職員との交流を体験しました。



邦楽英華会 夏の合宿

顧問 竹内千代子先生



初心者でも大丈夫。一緒にお琴を弾いてみませんか。入部希望者歓迎です。

蘇寧さん歓迎!



みなさん、こんにちは、はじめまして。

私は中国、蘇州科技学院から参りました蘇寧(ソ・ネイ)と申します。7月から英知大学、国際文化・言語学科の3年生として1年間の学生生活を送ることになりました。

私は日本に興味があり、日本の生活を体験しながら、日本の文化を勉強したいです。同時にいろいろな人と話して日本語を少しでもうまくなりたいです。

英知大学はアットホームな大学なので先生と友達の交流が盛んで、皆、親切で、毎日楽しく過ごしています。

一生懸命がんばります。よろしくお願いいたします。

後援会

SAPIENTIA SUPPORT ASSOCIATION



平成18年度後援会会長の任をおおせつかりました、富田でございます。もとよりこのような大任をお受けすることに躊躇もありましたが、各役員、理事の方々の協力と、学校側の協力を得まして、この1年微力ながら、学校と、学生のために尽力を尽くしたいと思えます。後援会会員の皆さんも是非、後援会活動にご理解とご協力をお願いいたします。さて、後援会活動とはどのようなことを行っているのでしょうか、ここ数年会員の減少歯止めが懸案事項のひとつとなっていますが、これは後援会がどのような事業を行っているか、何故必要なかが分かり難いことに起因しているのではないかと考えております。実際私も後援会の役をおおせつかるまで、何をしているのか、役をおおせつかって始めのうちは何をしたら良いのか、まったく分かりませんでした。しかし、この後援会は学校の運営や、福利厚生に無くてはならないものだということが分かってきました。そして、学生のためにももっと私たちが、関わっても良いのだと認識するに至りました。幸い、英知大学は少人数制による、非常に家庭的な大学であり、後援会、大学が一体となり学生に関われる下地があります。少人数制の話ですが、メリット、デメリットがあります。少人数制の良いところは皆さんご存知でしょう、ではデメリットはどのようなところに存在するのでしょうか、実はここにも後援会の活躍できる場があります。少人数は手厚い授業が出来る代わりに、学校内での友人、学生数の少なさに気がつき寂しくなる気持ちになる事があると思います。限られた世界の狭さゆえ相談事、気晴らしの仕方などに子供たちは工夫がいるのです。お子様に問題を抱えておられるご家庭もあることと思います。もっと精神的にも現実的にも近く、学校や先生方が居られれば、保護者も学生も心強いのではないのでしょうか。そこで、まず後援会は、独自の事業とともに、学校側の協力を得ながら、保護者の方々と学校側とを近づける場所を確保したいと思えます。そして地域に大学が貢献できるようにもっと門戸を開くよう進めるとともに、後援会も協力してまいります。そして学生に少しでも近づけるよう、大学祭にも積極的に参加して行こうと思えます。

1. 各学部の先生方と保護者の懇談会開催
2. 保護者対象の各講習会の開催
3. 来賓を招き講演会の開催
4. 大学祭の参加
5. 尼崎園田地区と協力して一般の方、学生対象に自然科学(主に天体観測会)の実施。

(17年度に地域の子供会と尼崎市、英知大学後援により実施)

以上の事業を推進していきたいと思えます。以上事業の日程が決まりましたら、ご報告してまいります。保護者の皆さん、是非後援会活動にご協力いただき、学校と学生をより元気に、よりよい大学で充実した学生生活をおくることが出来るように、会員の皆様のご協力とご理解を重ねてお願いするとともに、未だ会員になられておられない方は、以上のような趣旨のもと活動しておりますので、ご協力をお願いし、後援会に是非ご入会をお願いいたします。

後援会会長 富田善寿

2006年度 英知大学後援会決算書

一般会計

収入の部

自2005年4月1日～至2006年3月31日

項目	予算額	決算額	増減	備 考
入会金	1,530,000	1,540,000	△10,000	1万円×152人 1万円×3人 姉妹入学に1万円返金
会 費	11,625,000	11,715,000	△90,000	5万円×152人 2.5万円×3人 4万円×101人
雑収入	100	69	31	預金利息
前年度繰越金	50,110	50,110	0	
収入合計	13,205,210	13,305,179	△99,969	

支出の部

項目	2005年度予算額	2006年度予算額	前年度比	備 考
助成費	11,000,000	10,000,000	1,000,000	後援会会則第4条に基づく助成
事業費	1,800,000	1,267,500	532,500	助成費・懇談会費
事務費	160,000	186,780	△26,780	通信費・印刷費
会議費	150,000	18,270	131,730	役員会議費
慶弔費	10,000	0	10,000	
雑 費	50,000	49,177	823	退任役員記念品・利子課税ほか
予備費	35,210	0	35,210	
次年度繰越金	0	1,783,452	△1,783,452	
支出合計	13,205,210	13,305,179	△99,969	

特別会計

収入の部

項目	繰越額	利息	支出	残高	備 考
特別積立金	35,264,366	2,602	-420	35,266,548	

2006年度 英知大学後援会予算書

一般会計

収入の部

自2006年4月1日～至2007年3月31日

項目	2005年度予算額	2006年度予算額	前年度比	備 考
入会金	1,530,000	1,230,000	△300,000	1万円×123名 (内編入4名)
会 費	11,625,000	9,250,000	△2,375,000	5万円×119名 2.5万円×4名 分割4万円×80名
雑収入	100	100	1,733,342	預金利息
繰越金	50,110	1,783,452	△941,658	
収入合計	13,205,210	12,263,552		

支出の部

項目	2005年度予算額	2006年度予算額	前年度比	備 考
助成費	11,000,000	10,000,000	△1,000,000	後援会会則第4条に基づく助成
事業費	1,800,000	1,500,000	△300,000	助成費・懇談会費・天体観測・保護者対象パソコン教室
事務費	160,000	190,000	30,000	通信費・印刷費
会議費	150,000	150,000	0	役員会議費
慶弔費	10,000	10,000	0	
雑 費	50,000	50,000	0	退任役員記念品・利子課税
予備費	35,210	363,552	328,342	
支出合計	13,205,210	12,263,552	△941,658	

特別会計

収入の部

項目	繰越額	組入額	予定利息	予定残高	備 考
特別積立金	35,266,548	0	2,600	35,269,148	

法人会計決算の概要

学校法人英知学院の会計決算につきましては、平成18年5月23日の評議員会及び同月30日の理事会で審議され、承認されました。

平成17年度の『資金収支計算書』『消費収支計算書』及び『貸借対照表』は、以下の通りです。ご参考のため、前年度分と併せて提示いたします。

資金収支計算書

(収入の部) (単位 千円)

科 目	平成16年度	平成17年度
学生生徒等納付金収入	898,089	873,169
手数料収入	19,419	17,510
寄付金収入	66,030	61,750
補助金収入	200,333	210,446
資産運用収入	84,693	98,873
資産売却収入	0	400,000
事業収入	4,599	5,533
雑収入	27,947	68,049
前受金収入	182,526	177,318
その他の収入	84,470	332,444
資金収入調整勘定	△243,510	△264,699
前年度繰越支払資金	641,015	467,031
収入の部合計	1,965,612	2,447,427

(支出の部) (単位 千円)

科 目	平成16年度	平成17年度
人件費支出	849,890	883,975
教員人件費支出	576,717	557,244
職員人件費支出	254,263	255,525
役員報酬支出	623	1,380
退職金支出	18,287	69,824
教育研究経費支出	260,593	278,742
管理経費支出	111,331	110,677
借入金等利息支出	2,493	2,337
借入金等返済支出	4,500	4,500
施設関係支出	2,728	2,280
設備関係支出	31,053	31,440
資産運用支出	224,488	701,267
その他の支出	31,412	20,844
資金支出調整勘定	△19,908	△20,010
次年度繰越支払資金	467,031	431,372
支出の部合計	1,965,612	2,447,427

『資金収支計算書』に基づいて主な項目を説明いたしますと、

収入の部

学生生徒等納付金収入は、8億7,300万円となり、前年度比2,400万円の減少となりました。これは学生数の減少によるものです。手数料収入は、1,700万円となり、昨年度比190万円の減少となりました。主な原因は検定料の減少であります。寄付金収入は、6,100万円となりました。前年度比400万円の減少となりました。内5,000万円は、カトリック大阪教区からで、1,000万円は英知大学後援会からのものです。補助金収入は2億1,000万円となりました。前年度比1,000万円の増加です。資産売却収入は短期的運用により売買を行った結果の4億円です。資産運用収入は期中の特定資産・運転資金等の『資金運用要綱』に基づく効果的な運用により、9,800万円の利息・配当金を得ることができました。昨年度比1,400万円の増加です。雑収入は、約6,800万円となり、前年度比4,800万円増加しました。主な要因は、前年度比退職者数の増加による退職金財団からの交付金収入の増加であります。前受金収入は、前年度比500万円の減少で1億7,700万円となっています。以上の結果、収入の部合計が前年度比4億8,100万円増加し、24億4,700万円となりました。

消費収支計算書

(消費収入の部) (単位 千円)

科 目	平成16年度	平成17年度
学生生徒等納付金	898,089	873,168
手数料	19,419	17,510
寄付金	68,046	64,330
補助金	200,333	210,446
資産運用収入	84,693	97,873
資産売却差額	0	302
事業収入	4,599	5,533
雑収入	31,373	78,996
帰属収入合計	1,306,553	1,349,161
基本金組入額合計	△55,744	
消費収入の部合計	1,250,808	1,349,161

(消費支出の部) (単位 千円)

科 目	平成16年度	平成17年度
人件費	831,603	920,371
教員人件費	576,717	557,244
職員人件費	254,263	255,525
役員報酬	623	1,380
退職給与引当金繰入額	0	106,220
教育研究経費	406,969	420,216
(減価償却額)	146,375	141,474
管理経費	127,394	126,708
(減価償却額)	16,042	15,810
借入金等利息	2,493	2,337
資産処分差額	67	189
徴収不能額引当金繰入額等	7,889	3,029
消費支出の部合計	1,376,416	1,472,852
当年度消費支出超過額	125,607	123,690
前年度繰越消費支出超過額	800,626	926,232
基本金取崩額		279,194
翌年度繰越消費支出超過額	926,233	770,728

支出の部

人件費支出では、教育職員の減少等により、前年度比教員人件費で1,900万円減少しました。職員はほぼ同額でした。退職金支出は退職者が増えたことにより5,000万円の増加となり結果、人件費支出は3,400万円の増加となりました。

教育研究経費支出及び管理経費支出では、10%削減予算に取り組みましたが、設備の更新（CALLシステムの導入や事務系システムの更新：賃借料）、人件費増加を抑えるために派遣職員の雇用（支払報酬・手数料）等が増加し、結果1,700万円の増加となりました。

施設関係支出については、老朽化したセミナーハウスの改修等を行いました。設備関係支出については、老朽化したエアコン更新やサーバー等の更新を行いました。

資産運用支出は、短期の運用による支出が3億9,900万円、長期の組み替えが3億円があり、昨年度比4億7,600万円の増加となりました。

以上の結果、次期繰越支払資金は前年度比3,500万円減少し、4億3,100万円となりました。

『消費収支計算書』における収支差額は、1億2,300万円とほぼ昨年どおりですが、会計基準の改正に伴い基本金の繰延高を取崩2億7,900万円を行い、翌年度繰越消費支出差額は7億7,000万円となりました。尚、減価償却は教育研究費で1億4,600万円、管理経費で1,500万円、計1億6,100万円実施いたしました。

『貸借対照表』によりますと、平成17年度末における資産総額は62億9,600万円となりました。これは前年度比9,700万円の減少です。主な原因は減価償却です。この結果、資産総額から負債総額を差し引いた期純資産額は56億5,100万円となりました。尚、基本金の内訳は、第1号基本金60億9,000万円、第2号基本金2億円、第4号基本金1億3,100万円、合計64億2,000万円となっています。

以上、法人会計決算の概要をご報告申し上げます。

18歳未満人口の急激な減少等、英知大学を取り巻く環境には厳しいものがあります。学生数の確保を第一義に今後とも教育研究の一層の充実、施設・設備の更新・整備などに努め、大学の安定的な発展を図っていく所存です。教職員並びに、保護者の皆様方を始め、英知大学に関わる全ての皆様方には、尚一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。



総財務部 部長 田中 功

貸借対照表

(資産の部) (単位 千円)			(負債・基本金・消費収支差額の部) (単位 千円)		
科 目	平成16年度末	平成17年度末	科 目	平成16年度末	平成17年度末
固定資産	5,696,653	5,580,067	固定負債	395,137	427,032
有形固定資産	4,167,941	4,057,361	長期借入金	65,500	61,000
土地	255,324	255,324	退職給与引当金	329,637	366,032
建物・構築物	2,679,224	2,506,377	流動負債	223,086	217,165
機器備品	58,534	43,727	短期借入金	4,500	4,500
図書	1,174,858	1,215,841	未払金	19,261	20,010
車輛	1	1	前受金	182,526	177,318
その他の固定資産	1,528,712	1,522,705	預り金	16,766	15,336
特定資産	1,518,771	1,514,042	負債の部合計	618,223	644,198
長期貸付金等	9,941	8,663	基本金の部合計	6,701,748	6,422,553
流動資産	697,085	715,956	消費収支差額の部合計	△926,233	△770,728
現金	467,031	431,372	負債・基本金・消費収支差額合計	6,393,738	6,296,023
その他の流動資産	230,054	284,584			
資産の部合計	6,393,738	6,296,023			

2006年度事業計画より

本学は、18歳人口の減少等大学を取り巻く厳しい環境の中、2004年度に第1次改革として人間学科、英語英文学科及び国際文化・言語学科の3学科からなる学科改組を行いました。ただ、第1次改革は「ゆとり教育」を受けた最初の学生が入学するいわゆる「2006年問題」、大学の入学定員と入学志願者が同数になると言われている「2007年問題」、そして社会が本学に求めているニーズ等の確に合ったものとは必ずしも言えず、そういう意味で改革は道半ばと言わざるを得ません。

このようなことから、まず昨年9月に若手教員からなる「第2次改革検討委員会」を発足させ、12月にかけて第1次改革の問題点、反省点を洗い出しながら今後の英知大学のあるべき姿について議論を重ねました。

また同様に、学科会議、諸委員会でもそれぞれのテーマについてかつてないほど議論の盛り上がりがあり、これらは全て教員が共に本学の抱える諸課題を解決しようとする意識の現われであるとともに、ひいてはよりよき改革に結びつくものと確信します。

「大学での学びをどう行動化するか」



講師 日野原重明氏 聖路加国際病院理事長 PROFILE

1911年10月4日 山口県山口市生まれ。医師。
関西学院大学中等部、京都の第三高等学校を経て京都帝国大学医学部に入学。在学中に結核にかかり、当時実家の有った広島市で約一年間開病生活を送る。1937年に京都帝国大学を卒業。1941年に聖路加国際病院の内科医となり、内科医長、院長を歴任する。現在は同病院名誉院長であり、数多くの著書でも知られている。マスコミのインタビューで病院ではエスカレーターやエレベーターをなるべく使わないと答え、J R利用時も同様にしているという。御年95歳。
2001年12月に出版した『生きかた上手』は120万部以上を売り上げ、日本最高齢のミリオンセラー作家となった。高齢者の希望の星的存在となっている。
2005年、文化勲章を授与される。
2006年3月まで英知大学客員教授。

第2回星空観察会

日時 2006年10月28日(土)
PM6:00~PM8:30
場所 英知大学構内
※雨天曇天の場合10月29日に順延となります。

お問い合わせ先/園田支所地域振興センター
06-6491-2361(安福)

主催:市民運動園田地区推進協議会
後援:尼崎市・尼崎市教育委員会・英知大学・英知大学後援会
協力:「星をもとめて」実行委員会・豊中天文会

遠ざかりゆく月

月は毎年、3.8cmずつ地球から離れていっているといわれている。今から45億年前、生まれたばかりの月と地球との距離は現在の20分の1しかなく地球から見える満月の大きさは400倍と巨大なものであった。



The Mysterious Moon

月食予定表

2007年3月4日	皆既	6時29分~8時57分	九州以南のみ
2007年8月28日	皆既	17時51分~21時24分	全国
2008年8月17日	部分	4時36分~7時45分	全国で始まりのみ
2010年1月1日	部分	3時52分~4時54分	全国
2010年6月26日	部分	19時16分~22時00分	全国
2010年12月21日	皆既	15時32分~19時02分	全国で後半
2011年6月16日	皆既	3時23分~7時03分	全国で前半
2011年12月10日	皆既	21時45分~1時18分	全国
2012年6月4日	部分	18時59分~21時07分	全国
2013年4月26日	部分	4時52分~5時23分	全国

※「宇宙大全」藤井旭 著(作品社)より

行事予定

9月

- 3 オープンキャンパス
- 4~ 海外研修旅行(アメリカ)
- 16 大学院秋入試(東京)
- 18 オープンキャンパス
- 20 大学院秋入試(本学)

10月

- 2 大学院秋入学式
- 2~ 後期英・仏・中国語会話教室 受講者募集
- 10~ 後期英・仏・中国語会話教室 教室開講
- 2007年度留学希望者事務手続き開始
- 26 第8回英知大学外国人留学生による日本語弁論大会
- 第20回英知大学英語スピーチコンテスト出場者募集
- 28 第2回 星空観察会

11月

- 1 開学記念日
- 2-3 大学祭
- 3 開学記念講演会
- 9 追悼ミサ
- 11 第41回学内TOEICテスト
- 18-19 英南戦
- 25 第8回高校生対象英語スピーチコンテスト(英知杯)
- 第4回高校生対象西語・仏語暗誦大会

12月

- 1 点灯式(X'masイルミネーション)
- 14 第20回英知大学スピーチコンテスト
- 22 サビエンチア・クリスマス

編集

編集長 田中功
発行者 小田武彦
発行所 英知大学 〒661-8530兵庫県尼崎市若王寺2丁目18-1
06-6491-5000(代)
EMAIL info@sapientia.ac.jp
URL http://www.sapientia.ac.jp/